

2022年12月27日

## 中国コロナ最新情報

### 1. 感染者数の発表

中国では、12月初旬に新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和された後、全国の多くの地域で感染者数が急増しています。

12月25日には中国国家衛生健康委員会が、新型コロナウイルス感染者数と死者数の公表を中止し、今後は下部組織の中国疾病予防コントロールセンターが「参考と研究のため」に情報の提供を行います。情報提供の内容は「中国全土の12月24日の新規感染者数は2,940名で死者はいなかった」というものですが、一方で実態として、中国の青島市では現在、1日あたりの新規感染者数が49万人から53万人に達し、今後数日間は1日あたり10%のペースで増加していくとみられています。浙江省では1日当たりの新規な陽性者が100万人を突破し、中国全土では2億人以上の国民が感染しているとも報じられており、政府発表は地方自治体の数字とかけ離れています。

現在中国の人々は、薬局に解熱薬や鎮痛剤などを買いに走り、薬剤の値段は値上がりし始めました。そして感染者が増えるにつれて薬が入手しにくくなっています。



### 2. 入国後の隔離撤廃 「ゼロコロナ」 ついに転換

中国の国家衛生健康委員会（NHC）は26日、新型コロナウイルスの水際対策として約3年間にわたり入国者に義務付けてきた隔離措置を、来年1月8日に撤廃すると発表しました。

渡航者は到着 48 時間前に PCR 検査を受けるだけで入国できるようになり、国際便の運航本数に対する制限も撤廃されます。国内の断続的な規制緩和に加えて出入国時の制約もほぼなくなる形で、国民に厳しい移動制限を強いてきた「ゼロコロナ」政策は事実上、終了となります。中国政府はこれまで、入国者に対してホテルなど指定の施設で 5 日間、さらに自宅などで 3 日間の計 8 日間の隔離を義務づけてきましたが、すべて廃止されます。

また、中国国家衛生健康委員会の発表によると、隔離措置の撤廃と同時に、新型コロナの感染症分類の引き下げも行うということです。これにより、濃厚接触者の追跡や、感染状況に応じた「高リスク地域」の指定も撤廃されます。

### 3. 今後の見込み

上記の全面解禁後、中国では新型コロナ感染症の陽性者数が、世界で最も多い国になる可能性が十分にあります。間もなく到来する春節期間における人々の大量の移動により、コロナ感染症の流行が、都市部から農村部に伝播し、第 2 波のピークを迎えるおそれがあります。

### 4. 受注案件への影響

現在受注いただいている案件のなかで、製造工場の感染者が多く、生産や物流に影響が及ぶ恐れのある案件につきましては、個別に弊社担当からご連絡させていただきます。

引き続き、関連情報を収集し、新しい情報を入手次第、ご報告いたしますので、よろしくお願い致します。

以上